

全都連絡会ファックス通信 67号

『ファックス通信』を交流の場にしたいと思っております。各会のニュース・案内・集いの報告などをお寄せ下さい。FAX:020-4663-2143 メール:tkk29564@r7.dion.ne.jp

5月15日(土) 水元高校を守る会が、金町区民センターで “15の春を泣かせない・区民の集い”を開きます

1999年10月に策定された「都立高校改革推進計画・第二次実施計画」において、廃校の該当校となった水元高校の存続を求め続けて5年目をむかえた水元高校を守る会が、“区民の集い”を開きます。水元高校を守る会では、教育庁の行政計画では来年度に予定されている募集停止を延期し、その間に地元の意見と取り入れた「新たな計画の策定」を求めるとして、“区民の集い”と6回目の“都議会請願署名”に取り組んでいます。

“区民の集い”は、のサブタイトルは「なぜ水元高校の存続を求めるのか」、内容は「大規模マンション群建設に伴い、急激に増加する区内の子供たちと、水元高校の廃校で、一段と厳しくなる高校進学条件についての アピールとフリートーク」です。

“都議会請願署名”[5月末提出予定]の請願項目は、①葛飾区内の大規模マンション群建設計画に伴い、人口急増が見込まれるので、来年度より実施予定の、水元高校の募集停止を少なくとも1ないし2年は延期すること、②その間に、葛飾区などの子供たちにとって、進学条件が不利とならない方策を、地域住民・学校関係者と十分に話し合い、新たな計画を策定することの、2点です。

水元高校の存続を求める理由として、守る会では、①全都的な教育人口等推計が計画当初から比べて大幅な増加修正をしたこと、②金町地区では、大マンション群が建築・計画中であり、人口増が見込まれること[区の試算では、8,000~10,000人]、③全都的な統廃合の進行で入学定員が削減されているだけでなく、(葛飾区は普通科高校が少ないなど)区によって大きな不均衡を生じさせていること、④水元高校の入学希望者が、定員枠を10年近く下回ったことがないこと、⑤地元の樺山都議(自民)が「水元マジック」と評価するような教育実践に取り組んでいることなどをあげています。

テーマは 「15の春を泣かせない・区民の集い - なぜ水元高校の存続を求めるのか」

日時は 5月15日(土) 14時 ~ 16時 <受付開始: 13時30分>

会場は 金町地区センター (JR金町駅北口より徒歩3分・イトーヨーカ堂隣り)

全都連絡会 2004年・ステップアップ集会

テーマ 地域から、親と子どもの視点で考えよう! 私たちが望む教育改革を!

日時 5月23日(日) 10時 ~ 16時

第1部: 講演(10時~12時)

テーマは: 公教育と地域の関わり方 お話しは: 平塚真樹さん(法政大学)

第2部: 取り組みを交流し、展望を共有する集い

会場は 豊島区 生活産業プラザ8階 多目的ホール(豊島区民センター裏)